

# 「みんな咲いた」

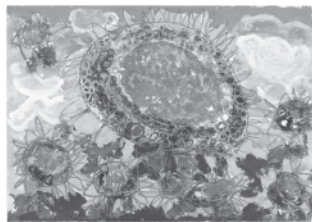
中尾 翔琉（なかお かける）5歳

敬愛保育園（四州教区）

作品としての見栄えに目を奪われる人もいるかも知れませんが、教えられたり、促されたりして描けるような絵ではありません。生活を通して、自然の不思議や面白さを十分に感じ取ったからこそ、この表現が生まれたのです。外側の黄色い舌状花、その内側に開いた管状花、そして中央には未だつぼみの管状花と3重になっているヒマワリの花の構造を見事にとらえています。感じたこと、気付いたことを絵に表現することで世界を自分のものにしていくのです。

青空を背景にそびえ立つひまわりを見上げて描いたのでしよう。自分たちで種を蒔くことから始めて、すくすくと生長していく姿を喜びながら毎日見守ってきたそうです。ひまわりだけでなく、アサガオなどの草花や夏野菜にも興味を持ち、自分たちで図鑑を使って詳しく見たり、お友だちと話し合い、発した言葉に共感し合ったりもしたそうです。先生は、さらに「ヒマワリのうた」を歌ったり身体表現を楽しんだりする中でイメージが広がるように配慮したそうです。

## ●表紙のことば●



おおはし いさお  
**大橋 功**

和歌山信愛大学